

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	02	元気館事業の充実					
章	1	健康でおもいやりのあるまち					
大項目	01	心と体の健康づくり					
施策	01	生涯を通じた心と体の健康づくり					
<b>事業内容</b>							
目的	区民の運動習慣のきっかけづくりと地域での健康づくり活動の活性化を図ります。						
対象・手段	誰でも気軽に利用できる軽運動プログラム等の健康づくり事業及び健康づくり活動を行う自主グループ・その他の団体に対する施設の貸出事業を、指定管理者の運営により行います。						
<b>成果(事業が意図する成果)</b>							
運動の実践による健康づくりを促進し、高齢者の運動機能を向上させます。 地域自主グループの活動支援を通じた健康づくり活動を活性化させます。							
<b>事業成果指標</b>							
指標名		定義			目標水準		
健康増進プログラムの利用率		健康増進プログラムの利用率(利用者延べ人数/延べ定員数)			(平成19)年度に (60%)の水準達成		
					( )年度に ( )の水準達成		
					( )年度に ( )の水準達成		
<b>成果の達成状況</b>							
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
事業 成果 指標	目標値1	%	60.00	60.00	60.00	60.00	
	実績1	%	47.90	53.90	57.40	60.10	
	= /	%	79.83	89.83	95.67	100.17	
	目標値2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
<b>事業の実施内容</b>							
平成18年度	コース型：利用者延べ人数 29,211人 利用率(利用者数/定員数×100)66.5%(4月から3月の平均) フリー型：利用者延べ人数 15,160人 利用率(利用者数/定員数×100)48.2%(4月から3月の平均) プログラム平均利用率 57.4%						
平成19年度	コース型：利用者延べ人数 28,315人 利用率(利用者数/定員数×100)62.0%(4月から3月の平均) フリー型：利用者延べ人数 15,695人 利用率(利用者数/定員数×100)57.0%(4月から3月の平均) プログラム平均利用率 60.1%						

部名称		健康部			課名称		健康推進課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考	
トータルコスト	事業費	千円	43,737	39,254	22,329	23,779	事務費については、17年度より管理運営費になったため、計上していません。 18年度から指定管理者制度を導入し、利用料金は利用者が直接指定管理者に支払い、区はその金額分を指定管理委託料から減額しています。	
	人件費	千円	8,338	8,338	8,280	8,260		
	事務費	千円	34,661	0	0	0		
	減価償却費等	千円	0	0	0	0		
	総計 = + + +	千円	86,736	47,592	30,609	32,039		
	受益者負担	千円	21,384	14,482	0	0		
	純計 = -	千円	65,352	33,110	30,609	32,039		
受益者負担率 /	%	24.65	30.43	0.00	0.00			
財源内訳	一般財源 = -	千円	62,424	30,893	30,609	32,039		
	特定財源		2,928	2,217	0	0		
	一般財源投入率 /	%	71.97	64.91	100.00	100.00		
職員	常勤職員	人	1.00	1.00	1.00	1.00		
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00		
<b>事業に関する検討課題</b>								
<p>健康増進プログラムについては、平均利用率の目標値（60％）を達成しました。コース型の利用者人数及び利用率は自主事業を増やしたことにより減少していますが、フリー型の実施プログラムの再編成等で利用率が増加しています。高齢者の運動機能向上プログラムは、さらなるプログラム内容等の充実を図り広報等で積極的に周知し、利用者の増加を目指していくことが必要です。</p> <p>20年度の指定管理者の選定にあたっては、さらなるサービスの向上と効率的な運営を念頭に選定することが必要です。</p>								
評価基準に基づく評価と理由 「3・2・1」の3段階評価です。	達成度	3	平成19年度の目標については、コース型延べ28,315人、フリー型延べ15,695人で、健康増進プログラムの利用率は目標値を達成しました。					
	実施の成果	2	平成19年度の健康増進プログラムの利用率は60.1%で、区民の運動実践のきっかけづくりとして機能しています。また、施設貸出事業は地域の健康づくり活動を支援しています。					
	効率性	2	この事業は指定管理者制度により運営しているため、区民ニーズを敏感かつ迅速にプログラムに反映させることができ、ほぼ効率的に実施できました。					
	行政の関与	3	健康増進法や地域保健法などにより、区民の健康づくり実践のための事業として、地域における健康づくり活動等への支援を区が行うことは妥当です。					
	妥当性	2	健康増進プログラムの利用率を目標として設定したことは、区民ニーズに対応したサービスを目指すことにつながるため妥当です。					
	施策寄与度	3	この3年間で利用率は53.9%から60.1%に増加し、目標値を達成しました。子どもから高齢者までの幅広い年齢層の区民に対する運動習慣の定着、運動機能の向上・改善に寄与しました。					
総合評価	健康増進プログラムの19年度の利用率は目標値を達成し、本事業は計画どおり進められたといえるため、「B」評価としました。 また、過去3年間の評価についても「B」とします。これは、プログラムの利用率が年々増加し、指定管理者制度の導入の効果が出ていると評価できるためです。						<b>B</b>	
							過年度評価 18年度 <b>B</b> 17年度 <b>B</b> 16年度 <b>B</b> 15年度	
改革方針							方向性	
	この事業は、健康増進プログラムの中の既存メニューの一部を、生活習慣病予防を実現するためのメニューにし、第一次実行計画「27元気館事業の推進」に引き継いで取り組んでいきます。利用率の低い健康増進プログラムは、内容の充実や利用率の高いメニューを増やすことで、運営の効率化を図ります。また、今後とも引き続き利用者や社会のニーズ等に対応したプログラムを取り入れる必要があり、20年度の指定管理者の選定に際しても、十分に考慮します。						1  現状のまま継続	